

近江八景「比良の暮雪」琵琶湖八景「雄松崎の白汀」 自然に抱かれた



創立152年

小松っ子

学校便り No. 8
大津市立小松小学校
児童数 166名
令和7年10月31日
校長 石田 敦子

秋の深まりとともに、木々が色づき始めました。小松小学校では、風の強い日が多くなり、校庭の落ち葉が舞い上がる様子に季節の移ろいを感じます。子どもたちは、そんな風を受けながら元気に活動し、学びを深めています。今月も充実した学校生活を送ってまいります。

運動会

10月11日（土）、運動会を開催いたしました。縦割りの色別集団による応援合戦や、各学年の競技等において、子どもたちは最後まで力いっぱい取り組み、仲間とともに輝く姿を見せてくれました。

当日は、多くの保護者の皆様にご来校いただき、温かいご声援を送っていただきましたこと、心より感謝申し上げます。また、後片付け等にもご協力いただき、誠にありがとうございました。



フローティングスクール

5年生は、10月20日（月）～21日（火）の2日間、びわ湖フローティングスクールに参加しました。今回のテーマは「見つけよう！感じよう！びわ湖の魅力」。小松小学校、木戸小学校、和邇小学校、北大津養護学校の4校が合同で乗船し、琵琶湖の自然や文化について学びました。

この2日間、子どもたちは自分の役割をしっかりと果たしながら、他校の友だちと協力し、班の中で大変よく頑張りました。琵琶湖のこと、環境のことをたくさん考えることができたのではないのでしょうか。また、班の仲間と協力し、友だちと力を合わせる大切さを学んだと思います。

閉校式のあいさつでは、代表の米谷さんが「琵琶湖を守るために自分ができることを考えたい」と話してくれました。ここからが本当の学びの始まりです。

今回のフローティングスクールのためにご準備いただいたり、体調の管理に気を配っていただいたりした保護者の皆様、ご理解・ご協力をありがとうございました。



修学旅行

10月28日（火）から29日（水）にかけて、6年生が広島・宮島方面への修学旅行に出かけました。「最高の思い出に残る修学旅行にしよう」というテーマのもと、子どもたちは仲間とともに貴重な体験を重ねました。

初日は広島の平和記念公園や平和記念資料館を訪れ、戦争の悲惨さや平和の尊さについて深く学ぶ機会となりました。展示を真剣な表情で見つめる子どもたちの姿から、それぞれが平和への思いを新たにしていることが伝わってきました。

2日目は宮島に渡り、厳島神社を参拝した後、商店街でお土産を買いました。昼食には広島名物のお好み焼きをいただき、歴史や文化、自然の美しさを肌で感じることができました。

平和とは小さなことの積み重ねであると考えています。旅行中、目を見てあいさつをする姿、ホテルのルームキーを両手で丁寧に返却する姿、友だちに優しく情報を伝える姿、電車のマナーを守る姿など、日常の中にある平和の種をたくさん見ることができました。

今回の修学旅行を通して、団体行動の中で協力する姿勢や責任感を育み、公共の場でのマナーを守ること、そして友人との絆を深める大切な時間となりました。この経験が、今後の学校生活や将来においても子どもたちの大きな糧となることを願っています。

保護者の皆様には、事前の準備や体調管理など、さまざまな面でご協力いただきましたこと、心より感謝申し上げます。



いじめ防止月間の取り組み

□いじめ未然防止教育と先生と語る会アンケート

10月は「いじめ防止月間」です。本校では、子ども支援コーディネーターと養護教諭による、いじめの未然防止を目的とした教育を全学年で実施しました。

授業では、「いじめ」とは何か、どのような行為がいじめにあたるのかについて、児童の発達段階に応じて分かりやすく伝えました。いじめとは、「対象となった子どもが心身の苦痛を感じた行為は原則すべて該当する」ということを、子どもたちは真剣な表情で受け止めていました。



また、児童一人ひとりの学校生活の様子を把握するためにアンケートを実施しました。今後はその結果をもとに、担任との教育相談を行い、子どもたちの安心・安全な学校生活のために、より丁寧な支援を進めてまいります。

子どもたちが互いを思いやり、安心して過ごせる学校づくりのために、今後も教職員一同、力を合わせて取り組んでまいります。保護者の皆様には、日頃よりご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

□運営委員会「ありがとうプロジェクト」

本校では、運営委員会が中心となって「ありがとうプロジェクト」に取り組みました。これは、日頃の感謝の気持ちを校内放送で伝え合うことで、みんなが温かい気持ちになり、いじめのない学校を目指す活動です。

給食の時間に、運営委員が放送を担当し、「～してくれて、うれしかったよ」「いつも、～してくれてありがとう」「これからもよろしくね。」「次は、わたしががんばるね。」など、心のこもったメッセージが毎日校内に流れていました。

児童同士、ときには児童と教員が感謝の気持ちを言葉にして伝え合うことで、互いを認め合い、思いやる気持ちが育まれています。こうした積み重ねが、安心して過ごせる学校づくりにつながっていくことを願っています。



地域の温かさにふれて ～家庭科ミシン学習～

家庭科の学習の一環として、6年生がミシンを使ってトートバッグ作りに挑戦しました。慣れないミシン操作に戸惑いながらも、子どもたちは一生懸命取り組み、素敵な作品を完成させることができました。

この学習には、地域のボランティアの皆様がご協力くださり、子どもたちに優しく教えていただいたり、困ったときに手を差し伸べていただいたりしました。おかげさまで、子どもたちは安心して学習に取り組むことができました。地域の皆様の温かいご支援に、心より感謝申し上げます。



お知らせとお願い

家族ふれあいフェスタのご案内

夏休み中には、「家族ふれ愛標語」や「わが家のルール作り」などの家庭での取り組みにご協力いただき、誠にありがとうございました。ご家庭でのふれあいや話し合いを通して、子どもたちは家族の絆や思いやりの心を育むことができました。皆様の温かいご支援に心より感謝申し上げます。

このたび、「家族ふれ愛標語」の審査会が行われ、本校からも3名の児童が優秀作品に選ばれました。これらの作品の紹介と表彰式が、11月29日（土）13時より（12時30分開場）和邇文化センターホールにて開催されます。

当日は、野村太鼓の演奏によるオープニングが予定されており、力強く迫力ある演奏で式典の幕開けを飾っていただきます。

また、式典後には、本校卒業生の黒川 琉伊（くろかわ るい）さんによる講演「私にとっての『はじめてのびわこの魚』」が行われます。黒川さんは、ラムサールびわっこ大使に選出され、琵琶湖の自然や環境について発信する活動を続けており、大阪・関西万博でも発表を行っています。

地域の自然や環境について考える貴重な機会となりますので、ぜひご家族そろってご参加ください。

ペットボトルキャップ回収終了のお知らせ

これまでご協力いただいていたペットボトルキャップの回収活動につきまして、今年度より、委員会活動の運営体制の変更に伴い、キャップの回収を終了しております。

なお、すでにキャップを集めてくださっている方は、12月末までは受取させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。